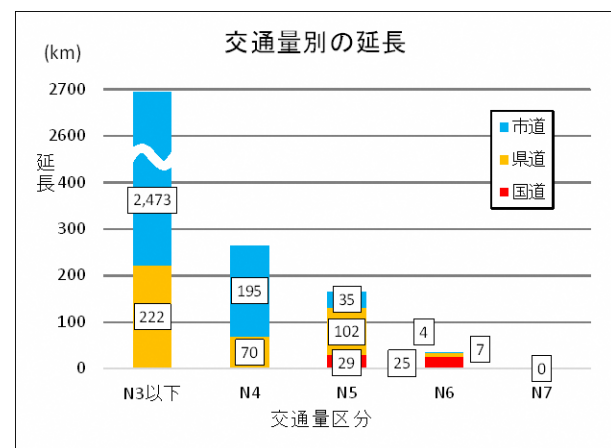
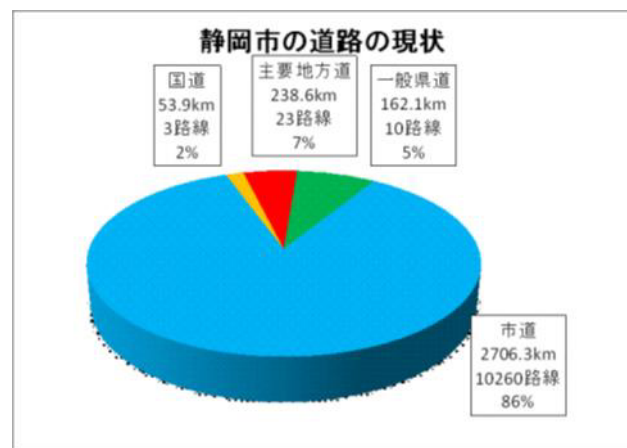


# 静岡市道路構造物維持管理計画（舗装編）概要版

平成 31 年 4 月

## 1 静岡市の現状

静岡市の管理道路延長は、国道（指定区間外）約 54 km、県道（主要地方道と一般県道）約 401 km、および市道約 2,706km の計約 3,161km である。大型車交通量区分 N<sub>3</sub> 以下の市道の割合が多く、N<sub>6</sub> は僅かで、N<sub>7</sub> 交通量の道路は無い。（平成 28 年 4 月 1 日現在）



## 2 計画の意義

第 3 次静岡市総合計画では、描く未来の姿を「世界に輝く静岡」としており、この総合計画を普遍的な理念のもと力強く進めようと、2018 年度からは、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れて活用している。

道路舗装の維持管理においては、SDGs が掲げる目標のうち、「11. 住み続けられるまちづくりを」の目標が関係しており、活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちづくりの実現を目指し、効率的な舗装の修繕を実施するための維持管理計画を改定。



## 3 維持管理計画の概要

道路舗装の現状を踏まえ、効率化を図る維持管理の基本的な考え方を記載

### (1) 道路分類の設定

効率的な維持管理を実施するため、管理対象道路を大型車交通量、地域類型に基づき、3つの道路分類に区分。

交通量区分	地域類型		
	DID	市街地	平地
N <sub>6</sub> 以上	B		
N <sub>5</sub>	B	C	
N <sub>4</sub>	C		
N <sub>3</sub> 以下	D		

静岡市の道路分類

特性	分類	主な道路 <sup>※1</sup> (イメージ)
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A	高規格幹線道路
・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B	主要幹線道路
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)	C	一般幹線道路
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命)	D	生活道路

[参考] 舗装点検要領における道路分類イメージ

### (2) 点検方法と管理基準の設定

点検方法・管理基準を設定し、将来の維持管理コストの削減を図るなど、舗装の効率的な維持管理を実施する。

点検方法	分類B	分類C	分類D
ひび割れ率、わだち掘れ量、IRI の 3 項目の測定 <1 回/5 年>	○	—	—
ひび割れ率の測定<1 回/5 年>、 IRI <適宜>	—	○	—
IRI あるいは職員による目視点検（ひび割れ率、わだち掘れ量の 2 項目）、要望等 <適宜>	○	○	○

各道路分類の点検方法



分類 B 点検状況例 (路面性状調査)

分類 C 点検イメージ (ひび割れ率調査)

ひび割れ率	診断結果と対策	わだち掘れ量	診断結果と対策
20%未満	診断区分 I (経過観察)	20mm 未満	診断区分 I (経過観察)
20%以上 ~30%未満	診断区分 II (シール材注入等)	20mm 以上 ~35mm 未満	診断区分 II (切削等)
30%以上	診断区分 III (CBR・FWD 調査等による対策検討)	35mm 以上	診断区分 III (CBR・FWD 調査等による対策検討)

分類 B の管理基準と対策 (ひび割れ率)

分類 B の管理基準と対策 (わだち掘れ量)

IRI	診断結果
3mm/m 未満	診断区分 I
3 mm/m 以上~8mm/m 未満	診断区分 II
8mm/m 以上	診断区分 III

※ IRI による対策工法の決定は難しいことから、診断区分の 1 つの目安とする。

※診断区分 III が確認された場合は、現場確認の上対策を検討する。

分類 B の管理基準 (IRI)

舗装の維持管理を行うにあたり、路面観察及び定期的な路面性状調査を行い、異常を認知した場合に、開削調査や非破壊検査 (FWD 調査等) などから原因を推察し、適切に修繕を行う。